

子育てに求むもの

— 学校週五日制にかかわって —

田中 知彦先生による講演

11月22日(日)



とじて保存して下さい

しでがの通信
 第122号
 羽津小 P・T・A
 編集発行
 発行所 羽津小学校

子育てに求むもの……………1
 「ぼく・わたしの第二土曜日」……………2
 このような過ごし方もありました……………3
 親の感想より……………4
 見なおそう 親と子のかかわり……………5
 子供からみた父親の態度……………6
 二期期を迫って……………7
 後期児童会役員紹介……………7
 三学期行事予定……………7

本年度の両親学級は、授業参観と田中知彦先生をお招きしての講演会を行いました。この講演会は、例年九月に実施している「母と女教師の語る会」の共催という形で持ちました。そのせいもあってか、多くの人に参加していただくことができました。しかし、時間の都合上、講演の後じっくり語り合い、討議をすることができなかったのが、少し残念でした。今後の課題にしたいと思います。

さて、講演ですが、五日制実施のモデル校の資料を交えながら、五日制の意義、親の構え、子育てのポイント等についてお話しいただきました。簡単にまとめると、五日制導入は、時期尚早ではあるが、各家庭が子育てについて見直すよいチャンスであり、各学校も学校教育内容を見直すよい機会である。親の構えとしては、教育の主体は親であり、子どもは学校教育だけで育つものではないという意識改革が必要である。子育てのポイントとしては、地球規模、国際社会で行動できる子を育てるために、強い意志、豊かな情操を養っていく。他にも色々な話をお伺いでき、実りある講演会でした。

母と女教師の語る会共催

《このような過ごし方もありました》

- ・家族で庭の掃除、その後、枝や葉を集めてさつまいも焼き
- ・アルバムの整理
- ・親子で草取り
- ・古タイヤを利用して家庭菜園作り
- ・親子でテニス
- ・ガラスふき
- ・兄弟で留守番をして昼食作り
- ・床ふき
- ・御池沼で花の観察会
- ・親子で読書
- ・親の勤め先付近の町や人の様子の見学
- ・子ども劇場というサークルで活動
- ・買い物から全き一人でカレー作り
- ・自分の部屋の大掃除
- ・親子で登山
- ・準備から後片づけまで姉妹でお菓子作り

《親の感想より》

- ・遊びの時間が多くとれて喜ばしいことだ
- ・親子のコミュニケーションが増えて良かった
- ・気分的にのんびりとし、ゆとりのある一日となった
- ・手伝いを楽しみながらして、充実していた
- ・親の働く姿を見せられていい勉強になった
- ・普段の日曜日と同じ感覚で良いのではないか
- ・休みがこれ以上多くなると心配である
- ・子供が計画し、積極的に過ごし方を考えるようにしていきたい

物質的には豊かな現在、「真の豊かさ」について問い直す必要に迫られています。生活が忙しく心のゆとりを失ってしまっていないでしょうか。親と子のふれ合いや子供の自主性が生かされた生活が営まれているでしょうか。友だちとの遊びや自然とのふれ合いが実現されているでしょうか。何と言っても、子供の生活基盤は家庭にあり、考え方や状況もそれぞれ異なります。当然のこととして、過ごし方の結果も違ってくるわけです。

大事なことは、各々の子供が「ゆとり」を実感しながら、自主的、主体的に健全な活動を計画し、実行し、反省を加えながら、次なる計画を求めて生きていける人間を育てることです。学力の充実を求め、そのことも大事なことです。人間としての思考や感性・自立の基礎を培うことは、特に発達途上にある子供たちにとっては、より重要なことであると思います。

第一回目の本校の子供のほとんどの過ごし方は、学校週五日制の趣旨に沿ったものであり、十人十色の過ごし方ができました。さらにゆとりのある豊かな気持ちで過ごすことができました。計画を変更した子供もいます。これも又、自然であると考

られます。

「休みが増えたから、だれか面倒をみてほしい」というのでは情けないことですし、公的機関が親の肩代わりをする施設であってもならないと思うのです。親に仕事があるからこそ、家のいろいろな事を子供がすることにより、将来に役立つ、生きる力を培うことが出来るのではないのでしょうか。

塾通いが増えるのではないかと、という懸念もありましたが、今のところでは、その心配もなさそうです。

『ぼく・わたしの第二土曜日』のような計画や感想を求めることは、本来、期待するところではありません。しかし、求められている「自立できる子供」の育成のためには、これが血肉となり、定着するまで体験を重ねることが必要であると思われま

子供たち自らが、考え、判断し行動に移せる良い機会になるよう大人が見守り、援助していきたいと考えます。

学校は、あくまでも、学ぶことの楽しさを通して、生涯にわたって学び続けるエネルギーをたくわえる場であり、学校週五日制が家庭や地域の教育力をさらに高める機会となりますように、と願っています。

(教頭 小井捷治)

—学校週五日制—

『ぼく・わたしの第二土曜日』

第一回目の週休二日制が九月二日に実施されました。「子供が自由な時間を、遊びや自然とのふれ合い、地域での様々な行事などに参加して、たくましく育つ」ことを目指している学校週五日制の第一歩だったわけですが、特別にとりたてて考えたり、活動すべきことではないと思いましたが、百年以上も続いてきた学校週六日制から五日制に変わる新しい教育の始まりであることから、その過ごし方について、一部、とまどいや不安をお持ちの御家庭があったことも事実です。

そこで、学校としては、学校週五日制の趣旨についてお知らせするとともに、『ぼく・わたしの第二土曜日』というタイトルのもとに、御家庭の協力を得て、子供達一人ひとりに過ごし方の計画をたてさせ、事前指導を行いました。

実施後は、「したことや感想」を書き、それをもとに事後指導を行い、概要をまとめ、今後に生かしていくことにいたしました。



第一回(9/2)過ごし方のまとめ

学年	幼児・児童・生徒の動向(人数)				過 ぎ し 方 の 概 要	
	家 庭	外 出	学 校	合 計	家庭でした主な活動	外出での主な活動
1年生	44	53	2	99	・掃除洗濯などの手伝いをした ・友だちと遊んだ ・庭の草取りをした ・テレビゲームをした	・公園で遊んだ ・祖母の家へ行った ・魚とり・虫とりをした ・友だちの家で遊んだ
2年生	39	44	0	83	・家の手伝いをした ・親子でお菓子作りをした ・キャッチボールをした ・部屋で遊んだ	・公園で遊んだ ・レジャー施設で遊んだ ・ピクニックに行った ・つりをした
3年生	42	50	0	92	・クッキー作りをした ・家の手伝いをした ・キャッチボールをした ・部屋で遊んだ	・買い物に行った ・友だちの家で遊んだ ・公園で遊んだ ・市立図書館へ行った
4年生	28	56	0	84	・家の手伝いをした ・友だちと遊んだ ・ファミコンをした ・テレビを見た	・公園で遊んだ ・友だちの家で遊んだ ・親戚の家へ行った ・草取りをした
5年生	35	48	0	83	・友だちと遊んだ ・お菓子作りをした ・テレビを見ていた ・部屋の片付けをした	・友だちの家で遊んだ ・公園で遊んだ ・つりをした ・草取りをした
6年生	31	45	0	76	・友だちと遊んだ ・お菓子作りをした ・家の手伝いをした ・読書をした	・友だちの家で遊んだ ・親戚の家へ行った ・山登りをした ・公園で遊んだ
合計	219	296	2*	517	※(学校でした主な活動) 紙芝居、お絵かき、本読み、遊具で遊ぶ等	

子供からみた父親の態度

回答率 95.8%

		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
1. 欲しいと思うものをよく買ってくれますか	はい	33.5	37.3	24.9	30.3	36.2	39.9
	いいえ	47.7	45.8	54.9	46.8	32.3	20.3
	どちらでもない	18.8	16.9	20.2	22.9	31.5	39.8
2. 良いことをした時ほめてくれますか	はい	63.2	77.5	72.2	82.8	76.4	80.8
	いいえ	24.8	9.5	16.5	11.2	10.7	3.9
	どちらでもない	12.0	13.0	11.3	6.0	12.9	15.3
3. 話す事を終りまでよく聞いてくれますか	はい	65.1	64.2	59.3	68.0	76.4	61.8
	いいえ	17.1	28.8	24.0	21.8	14.0	13.9
	どちらでもない	17.8	7.0	16.7	10.2	9.6	24.3
4. 「～しなさい」とよく言いますか	はい	40.5	60.5	74.8	56.1	67.8	51.5
	いいえ	34.0	26.2	18.9	30.9	27.3	26.0
	どちらでもない	25.5	13.3	6.3	13.0	4.9	22.5
5. 悲しいときや、こまったときになぐさめてくれますか	はい	44.8	50.4	42.1	38.7	49.7	25.8
	いいえ	38.8	36.4	32.8	35.4	25.8	21.5
	どちらでもない	16.4	13.2	25.1	25.9	24.5	52.7
6. 約束をまもってくれますか	はい	47.5	66.7	38.6	62.1	63.0	55.6
	いいえ	30.5	25.0	37.9	17.8	17.7	11.6
	どちらでもない	22.0	8.3	23.5	20.1	19.3	32.8
7. よく遊んでくれますか	はい	56.5	64.3	55.6	53.7	50.2	39.5
	いいえ	30.5	29.6	34.6	32.9	31.2	24.1
	どちらでもない	13.0	6.1	9.8	13.4	18.6	36.4

具体的に比べてみると、

(問3)は、父親の「はい」53.3%に比べて、子供の場合特に、5学年が76.4%と多い。

(問4)の、3学年は「はい」74.8%と多く、父親は58.1%と少ない。

(問5)は、全学年、特に6学年25.8%と少なく、父親は58.9%とかなり多い。

(問6)に関しては、父親が80.8%と、守ろうと努力しているが、子供から見ると、全学年平均的に少なく、特に3学年は88.6%と低い。

(問4)～(問6)に関しては、父親と子供との数値に差が出ています。父親のアンケートの意見から「努力はしているが、できない」のが現状のようです。しかし(問3)の場合、子供の数値が全体的に高く、子供たちの父親に対する良い評価を示しています。

断片的ではありますが、「親子の関係を客観的に見つめ直すきっかけ」になったらとの思いから、このアンケートに取り組んできました。みなさんから頂いた多くの貴重な意見や励ましのことばの中から、次に「ある父親の方からの意見」を紹介させていただきます。

このアンケートは、自分の日頃の子供に対して行動表現と、心の中にある子供に対しての思いやりの気持ち、かならずしも同じではない事が自覚できるとてもすばらしいアンケートだと思います。

このアンケートを、母親は、「父親がどのような接し方・行動をしているか」を記入し、父親は「母親がどのように接しているのか」を記入するならば、母親から見た父親の接し方、父親から見た母親の接し方について、更に深く、客観的に見てみるチャンスではないでしょうか？
ほんとうにありがとうございました。

最後になりましたが、先生方はじめみなさんには御協力を頂きありがとうございました。



見なおそう

親と子のかかわり



日頃、家族のふれ合いや会話などの機会が少なくなった、と耳にします。親子のコミュニケーションが必要だと言われている今日、私達保護者は、子供と一緒に考え、活動し、子供たち自らが行動できるようになって欲しいと願っています。

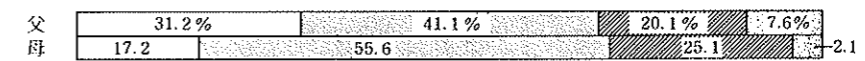
お父さんやお母さんは、どのように子供とかがわっているのでしょうか今一度、親子のあり方を見つめ直す機会になることを願って、このアンケートをまとめてみました。

両親の子供に対する態度

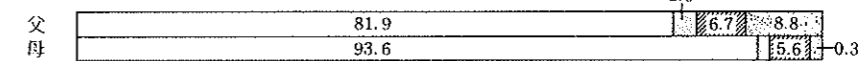
回答率 90%

はい いいえ どちらでもない わからない 無回答

1. あなたは、お子さんが欲しいものをよく買ってあげますか？



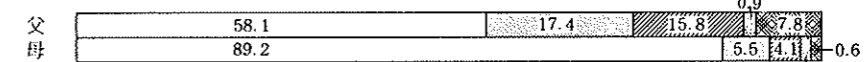
2. あなたは、お子さんが何か良い事をしたとき、ほめてあげますか？



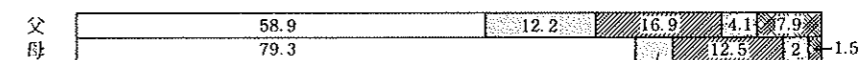
3. あなたは、お子さんと意見がくいちがったとき、お子さんの意見をよく聞いてあげますか？



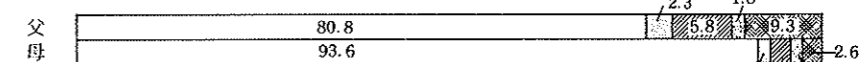
4. あなたは、お子さんにたいして「……しなさい」とか、「……してはいけない」とよく言いますか？



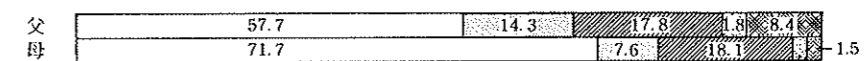
5. あなたは、お子さんが悲しそうときや困ったときに、慰めてあげますか？



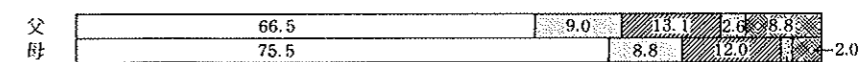
6. あなたは、お子さんとの約束をできるだけ守ろうとしていますか？



7. あなたは、お子さんに「するな」といったことを自分でもやらないようにしていますか？



8. あなたは、もっとお子さんの相手をしてあげたいと思いますか？



9. あなたは、お子さんの友達の名前をよく知っていますか？



「両親の子供に対する態度」のアンケートの結果、母親の方が、1項目を除いては、「はい」が多い。それは、日常子供に接することが多いからだろうと思われます。

では、日頃父親はどんなふう子供に接しているのだろうか。子供にたずねてみた結果は、次の通りでした。

さあ、問題です。
○か×かどっち？

学年行事

“何をしているのかな？”
実はいす取りゲームのさぶとん版。
子供たちの圧倒的な勝利に終わりました。



三
学
年

二
学
年



自然の中での
ふれあい。
いろんな体験が
できました。

アスレチック、カレー作りに、
キャンプファイヤーも...



三泗音楽会

11月18日
みんなの心がひとつ
になってすばらしい
歌声でした。

曲目
「みちというなの船に乗り」
「夢の世界」

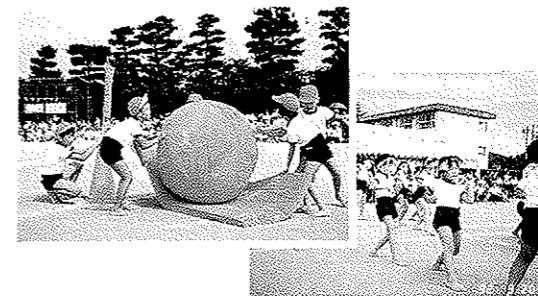


自然教室

10月28～29日



二学期を



秋の運動会

“ヤーレン
ソーラン ソーラン、”
可愛い表情に
思わずパチリ！

ソフトバレー



“楽しかった!!”
9月26日体育館にて、第1回PTA主催
のソフトバレーが行なわれました。
60名余りの参加があり、ルールも覚
えやすく楽しい2時間でした。
三学期もどしどし参加して下
さい。

テーブル マナー

10月23日「サンマルコ」にて

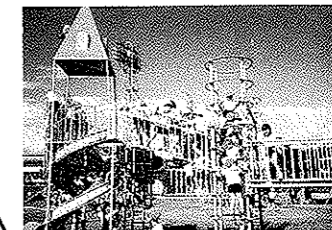


秋の遠足

多度山 目ざして
さあ 出発!!



“ワーイ、”
秋の澄みわたった青空の下
みんなの歓声が聞こえてき
そうです。



後期児童会役員紹介

会長 益田 早苗

副会長

平野 貴之

大森 貴仁

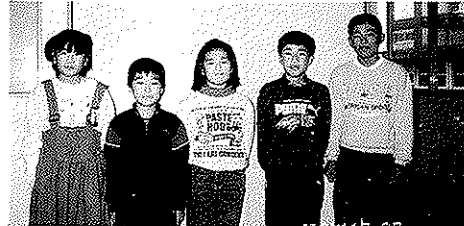
会長

益田 早苗

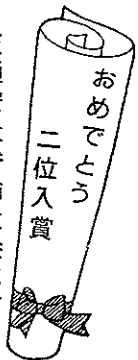
書記

橋本 智幸

尾田真由子



私が会長になれるなんて、ぜんぜん思ってませんでした。でもなったからには、全力でやろうと思っています。たとえば、朝のあいさつ運動とか、こんどの児童集会とか。
会長になってみると、思ったより大変で、うまくやっていたらどうかかわからないけれど、力いっぱいがんばります。



交通安全弁論大会にて
熱弁を奮う 横矢さん



交通安全弁論大会につきそって

赤塚 知子

代表に決定してから、毎日、休み時間も放課後も一生懸命練習した成果が出て、壇上でスピーチする千代子さんの姿は実に堂々たるものでした。周りのたくさんの方々の応援を受けての今回の受賞は、彼女に大きな自信を与えたことでしょう。本当におめでとう。



御出産

おめでとうございます

大川先生(男児)裕貴くん

渡辺先生(女児)未来ちゃん

三学期行事予定

- 1/8 始業式
- 1/11 給食開始
- 2/5 授業参観(高)
- 2/5 校内陶芸展
- 2/12 授業参観(低)
- 2/20 マラソン大会
- 2/25 6年生を送る会
- 3/23 給食終了
- 3/25 終了式

編集後記

今回は、皆様の貴重なアンケートや、ご意見をもとに作成しました。ご家庭で、っしでがのをご覧になりながら、楽しく会話が、はりますよう、部員一同願っています。

よいお年をお迎え下さい。

広報部

